

サマー☆フェスティバル 2025 ～中高生と地域とを繋ぐイベント～

取組の背景・目的

ジャンプ東池袋では毎年夏に中高生スタッフによる「サマー☆フェスティバル」を開催しています。中高生が実行委員となり計画や準備をしゲームコーナーやフードコーナーを担当、また、年度によって、同時に中高生や卒業生のステージを行います。

新型コロナウイルス拡大や施設大規模改修中仮施設運営により休止することもありましたが、昨年度より再開。今回は令和7年度の「サマー☆フェスティバル」の様子をご紹介します。

普段のジャンプ東池袋の利用は中高生のみが対象となっていますが、「サマー☆フェスティバル」では、乳幼児親子や小学生、ご高齢の方々、地域の方々をご招待し、イベントに参加し楽しく過ごしていただくことで、中高生がイベントスタッフとして活躍の様子を見てもらい、中高生と地域の方々が交流することを目指し実施しました。また「中高生センター ジャンプ東池袋」はどのような施設なのかを知ってもらうことも目的の一つとしています。

取組の概要

・中高生スタッフ募集及びスタッフ会議の開催

中高生と職員で相談し各コーナーを計画・準備をしていきました。中高生ならではの企画が立てられ、当日、何が必要か、どうすればお客さんが来てくれるか、相談し工夫しながら準備を進めていきました。

- ・ステージ出演者募集及び企画
- ・ポスターやチラシの作成・配布
- ・SNS 配信等での PR

【サマー☆フェスティバル2025】開催：直営

日時：令和7年7月26日(土) 午後2時～午後4時

スタッフ及び出演者：中学生8名、高校生17名、卒業生4名

◆ステージ

卒業生のジャグリング・ピアノ演奏

音楽スタジオ利用者によるバンド演奏

◆ゲームコーナー及びフードコーナー

ガン射的、CAN つり、ポップコーン、ベビーカステラなど

◆ワークショップ（フラワーアレンジメント）

講師に依頼し事前に中高生スタッフに指導し、当日は講師のアシスタントとして、フラワーアレンジメントに取り組むお客さんのサポートをしました。

工夫点・留意点

- ・どんなコーナーをやるか、中高生スタッフ同士で時間をかけて話し合い、企画・準備していきましました。十分に話し合うことによって、いろいろな考えが引き出されている様子が見られました。
- ・より多くの地域の方々がこのイベントを知ってもらえるようポスターの掲示や近隣施設でのチラシの配布、SNS 配信など PR を工夫しました。当日、多くの方々に来ていただきました。
- ・ステージにおいて、乳幼児親子や小学生など様々な年齢層の方々にも楽しんでいただけるよう、卒業生によるジャグリングやピアノ演奏を実施しました。音楽スタジオを利用している中高生バンドの演奏もあり、幅広い年齢層の方々に見ていただき、中高生の自己表現の場となりました。

取組の効果

中高生スタッフが自分たちで話し合い準備し、最後まで責任を持って各コーナーをやり遂げました。「楽しかった」「またやってみたい」との声も聞かれました。更に、中高生同士の関係が深まり、その後の自主企画イベントに参加する姿も見られています。

当日は乳幼児親子、小学生、地域の方々、大勢の方々がお客さんとして来館してくださり、中高生スタッフとの交流を楽しまれていました。地域の方々がワークショップに参加したり中高生と楽しそうに歓談している様子も見られ、中高生と地域の方々と交流できる機会となりました。



課題・今後の展開

今回、参加した中高生スタッフは準備や当日も含めて生き生きとして取り組んでいたように思われました。「サマー☆フェスティバル」は毎年実施しますので、引き続き、多くの中高生にスタッフとして参加してもらえよう、またより多くの地域の方々に来館していただけるよう内容やPRに力を入れていきたいと思います。